

— 卓球バレーのあゆみ —



◆1971 年（昭和 46 年）

刀根山養護学校（当時は豊中市立の小中学校の分校、現在は大阪府立刀根山支援学校）体育教師の土佐朝一先生と児童が卓球台を使ったゲーム（ゴロ卓球）を考案し、「卓球バレー」と名付ける。

◆1974 年（昭和 49 年）

近畿の筋ジストロフィー症児のための養護学校が開催した「第 5 回近畿筋ジストロフィー症児交歓会スポーツ交流会」の競技に取り入れられた卓球バレーの実施に当たり、当時の京都市立鳴滝養護学校が中心となってルールや用具の工夫・改善を重ねる。

◆1976 年（昭和 51 年）

京都障害者スポーツ振興会に京都市立鳴滝養護学校が加入し、重度の障害者が楽しく団体でできる競技として「身体障害者のスポーツ研修会」で紹介。その後、京都障害者スポーツ振興会が「重度の障害者のスポーツ」として京都市・府内全域に普及活動を展開。

◆1981 年（昭和 56 年）

国際障害者年を記念して開催された「第 1 回全京都身体障害者スポーツ大会」において、「卓球大会の部」の種目として団体戦に取り入れられる。



2011 年(平成 23 年)6 月 10 日
京都市立鳴滝総合支援学校の
校門横に設置された記念碑

◆1988 年（昭和 63 年）

京都障害者スポーツ振興会が「卓球バレー競技規則」を制定。

◆1988 年（昭和 63 年）10 月 30 日

「第 24 回全国身体障害者スポーツ大会（京都大会）」において「公開競技」として開催。

◆1989 年（平成元年）

「第 9 回全京都障害者総合スポーツ大会」より「卓球大会の部」から独立して「卓球バレー大会」として開催され、参加選手が 1,000 人を超える大会となる。

◆2008 年（平成 20 年）10 月 12 日

「第 8 回全国障害者スポーツ大会（大分）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第 1 回）「日本卓球バレー連盟」設立。

◆2009 年（平成 21 年）4 月 1 日

京都障害者スポーツ振興会が編纂・発行を行ってきた「卓球バレー競技規則」が日本卓球バレー連

盟に移譲され、以後改訂・発行を引き継ぐ。

日本卓球バレー連盟が東・中・西の「3ブロック制」を導入し、中・西の2ブロックでスタート。

◆2011年（平成23年）10月23日

「第11回全国障害者スポーツ大会（山口）」オープン競技として大会を開催。（第2回）

◆2013年（平成25年）4月1日

日本卓球バレー連盟が「審判委員会」と「普及委員会」を設置。

◆2015年（平成27年）10月18日

「第15回全国障害者スポーツ大会（和歌山）」オープン競技として大会を開催。（第3回）

◆2016年（平成28年）10月23日

「第16回全国障害者スポーツ大会（岩手）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第4回）
東ブロックの活動がスタート。

◆2017年（平成29年）12月10日

「2017卓球バレー全国交流大会（京都）」を開催。（第5回）

◆2018年（平成30年）10月14日

「第18回全国障害者スポーツ大会（福井）」オープン競技として
全国交流大会を開催。（第6回）

◆2019年（令和元年）10月6日

「第19回全国障害者スポーツ大会（茨城）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第7回）

◆2020年（令和2年）

「2020卓球バレー全国交流大会（埼玉）」新型コロナのまん延により中止。（第8回）

◆2021年（令和3年）

「卓球バレー誕生50年記念 卓球バレー全国交流大会 in 大分 2021」新型コロナのまん延により
中止。（第9回）

◆2022年（令和4年）4月1日

日本卓球バレー連盟が「総務委員会」を設置。

◆2022年（令和4年）10月2日

「第22回全国障害者スポーツ大会（栃木）」オープン競技として交流大会を開催。

◆2023年（令和5年）3月11日

「第10回全国卓球バレー交流大会 in ひょうご 2023」を開催。（第10回）



◆2024 年（令和 6 年）10 月 20 日

「第 23 回全国障害者スポーツ大会（佐賀）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第 11 回）

◇2025 年（令和 7 年）10 月 12 日

「第 24 回全国障害者スポーツ大会（滋賀）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第 12 回）

2025 年 11 月 2 日現在